

ここがロドスだ ここで跳べ

校長 石川 義信

これは、私が高3の時の文化祭のテーマでした。元々は、イソップ物語にある話です。

古代ギリシアのアテネで、ある者が「俺はロドス島の競技会で素晴らしい跳躍をした。ロドス島に行けば誰もが知っている。」と自慢していました。それを聞いた別のある者が、「それなら、ここがロドス島だと思って、ここで跳んでみる。」と言った、という話です。

この話は、「嘘つきの戒め」として捉えられるとともに、多くの場合、「理想や空想を語るより、現実のこの世界で今まさに行動しろ」といった意味で使われるようです。

例えば、「もう一度読む山川哲学」（山川出版社 2015）では、「ここで跳ばねば、どこで跳ぶ、人生もまたしかり。あの仕事をさせてくれたら、あの機会に恵まれたら、と話を他にふる前に、今、ここで自分の取り組んでいることに専念する。…どこかに理想の社会を求めるのではなく、今、実現された社会の理性的な秩序を把握し、そこを足場にして現実の只中で生きよという意味である。まずは与えられた現実の中で、自己のパフォーマンスを最高度に発揮することである。ここで跳べない人間が、他のところで跳べようか。」と解説されています。

「ここがロドスだ ここで跳べ!」（AKB48 2015）では、「…思うように行かない あきらめてしまいたくなる … 後ろを振り返るなよ 努力したとか 頑張ったとか 口にするな 今の自分見せてみろ! ここがロドスだ さあ ここで跳べ! 前を向いて さあ ここで跳べ!」と歌われています。

3年生の皆さん、正に「ここがロドスだ ここで跳べ」です。がんばってください。

2年生、1年生の皆さんも、私たちも、がんばりましょう。

それにしても、イソップ物語から文化祭のテーマを持ってきた同級生は、なんと素晴らしいセンスをもっていたことかと、改めて感心しているところです。

次期生徒会役員の認証式を実施しました



2月1日(水)の昼休みに令和5年度生徒会本部役員の認証式を実施しました。

2、3月は、令和4年度の役員とともに活動し、生徒会本部の仕事をしつづき引き継いでいきます。活躍を期待しています。

3年生に贈るメッセージ

2年生が教室(北校舎)の窓に、3年生へのメッセージを掲げました。3年生の教室(南校舎)の廊下からよく見えます。

3月3日(金)の県立高校入試がいよいよ目前に迫ってきました。3年生一人一人の健闘を、学校全体で祈っています。



生徒の主体的な取組が素晴らしいです

生徒会本部が、挨拶に関するPR動画を作成し、北校舎階段前のモニターで放映しました。お互いに元気で爽やかな挨拶を交わすことのできる学校づくりに、大いに役立っています。また、朝ボランティアで駐輪場を清掃する生徒がいるなど、主体的な活動が素晴らしいです。



合同部活動 ヨガ体験



2月8日、16日、22日の部活動の時間に、講師の先生を招いてヨガ体験を実施しました。合同部活動で、すべての部活動の生徒が参加し、心身をリラックスさせたり、集中させたりする方法を学びました。柔軟性を高め、体幹を鍛える効果もあります。今後の活動に生かしていってほしいと思います。

2年生立志の集い



2月24日(金)に「日々の感謝を伝えよう」をテーマに2学年立志の集い第2部を実施しました。「そのままの君で」の合唱や生徒一人一人による決意表明、お家の方との手紙の交換を行い、感謝の気持ちを伝えました。

この日は1年生の授業参観、家庭教育学級閉級式も実施しました。